

第10回日本気象学会夏期特別セミナー（若手会夏の学校）開催のお知らせ

第10回夏の学校実行委員会

日本気象学会夏期特別セミナー（夏の学校）は、若手研究者同士の、研究に関する議論と情報交換の場として、親睦を深める場として、毎年恒例のものとなりました。10回を数える今回は、筑波大学を主管として、猪苗代湖を眼下に臨む磐梯山の麓で行うこととなりました。関連分野の講師による招待講演に加えて、一般講演やポスターセッションとして参加者による研究発表の場や、交流の場を設ける予定ですので、討論や親睦を深めるよい機会になるかと思えます。

要項・参加申込書をご希望の方は、右の連絡先までお知らせください。併せて、夏の学校での講演や自主企画、ポスターセッションでの発表も募集しております。多数の方の御参加をお待ちしています。

また最新情報や詳細は、YM-net や下記 URL にて順次お知らせします。

記

日時：1998年7月18日（土）午後
～20日（月・祝日）午前（2泊3日）

場所：国立磐梯青年の家
福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原7136-1
（JR 磐越西線 猪苗代駅から車で約10分）

定員：100名程度を予定

参加申込締切：5月31日

連絡・問い合わせ先：

〒305-8571 筑波大学地球科学研究科
第10回夏の学校実行委員会
代表 長谷川聡
TEL：0298-53-4536
FAX：0298-51-9764

E-mail：gakkou98@etesia. geo. tsukuba. ac. jp
URL：http://air. geo. tsukuba. ac. jp/ss98/index. html

編集後記：編集委員の仕事について右も左もわからない私が「天気」編集委員になってから1年半が経ちました。私は編集委員の中では少し異質で、普段は主にテレビの気象情報の出演の仕事をしています。苦情が言いやすいNHKに出演しているということもあってか、夕方出演が終わると同時に何本かの電話がかかってきます（ほとんどがNHKの職員の方が対応します）。多いのは聞き逃しですが、お叱りや揚げ足取りの電話もあります。しかし何よりうれしいのは、滅多に無いことですが、「よくわかった、わかりやすかった」と言ってくれることです。

以前から、職場内外で学会員・非学会員から「天気」

は「学術色が強すぎる、難しい」という意見を聞きます。難しいという意見は個人差が関係してきますが、学術色が強いという意見は、「天気」に対する客観的な第一印象と私は受け止めています。編集委員会では、気象予報士や現業部門に従事する方々に対しても魅力ある機関紙にするにはどうすべきか模索中です。私たち編集委員は毎月「天気」が発行されるたびに、読者にとって「わかりやすく魅力ある」機関紙だったかどうか気になるところです。皆様の「天気」の記事や内容のあり方に対する素早い反応をお待ち申し上げます。（田口晶彦）